

---

# それゆけアモっさん！

KUMAZAKURA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

それゆけアモっさん！

### 【Nコード】

N2850Z

### 【作者名】

KUMAZAKURA

### 【あらすじ】

ドラクエ6の世界で『アモス』に転生してしまった物語。

ニコニコで見たリメイク版アモっさんの会話があまりに面白くて…衝動的に書いてしまいました。

一応、現在書いている小説の息抜きにと考えておりますので更新は遅めです。『俺たちの冒険はこれからEND』の可能性が非常に高いですが（笑）

## 英雄爆誕（前書き）

作者はアモス>テリーだと思います。

いや、テリーも好きなんですけどね。

## 英雄爆誕

子供の頃、いつまでサンタクロースを信じていただろうか？

俺は多分、幼稚園の時くらいまでだろう。近所のお店の名前が入った車でプレゼントを届けにきたサンタを見て絶望した記憶がある。そこからだ、クリスマスは俺にとって両親から無償でプレゼントを貰える日だと認識したのは。

正月も似たような認識だ……神様なんていない。願っても叶わない、どんなに真摯に祈ろうが届きはしない。だから信じるのをやめて、自分だけを信じて頑張った……否、頑張ってきたハズだった。

なのに……

「じゃあ君これから転生ね。特典は取説読んでね」

会社帰り終電内で寝ていたハズなのに気が付いたら真っ暗な空間に謎の存在と二人つきり、そして急に告げられるテンプ……いや、死んだ記憶はないけど？

「じゃあ一発逝ってみよおお！ これぞおお神なる一撃いい！」

こっちの困惑なんてどこ吹く風と言わんばかり声を高らかにのたまう謎の存在。その台詞とともに大きく後方へ何かを振りかぶる。

「<sup>イムラン</sup>天上天下唯我独尊全知全能酒池肉林神罰天罰天誅焼酎……活人剣！！」

人はそれを大根斬りと呼ぶ。頭蓋骨陥没どころか即死コースなその一撃を受け、俺は意識を失った。そして次に目が覚めた時は……

「オングヤアアアアア！！」

見たこともない場所で産声を上げながら再誕生していた。とりあえず言わせてくれ……俺が何をした？ この日俺は神様転生を果たしたのだった。

月日は巡り5年ほどの時が経った。

5年という年月は俺に現実感を持たせ、もはやこれが夢ではない

と受け入れるには十分過ぎる時間だった。

そして、とりあえずこの場所について情報収集した結果、大凡だがここがどんな世界なのかわかった。

結論から言おう、この世界は……

「あり得ねえ、よりによってドラクエ世界かよ……」

一步町の外に出たら普通に魔物モンスターがいるのだからビックリだ。ゼリ  
ー状の身体に無数の触手が付いた存在（通称：ホイミスライム）が  
闊歩しているのだ。

しかし現実には非情であり、もっと衝撃的な事実が判明した。

それは……

「アモス？ お母さんこれから定期船でアークボルトまで行つて  
くるから良い子でお留守番よろしくね？」

……転生先が町モンスターヒーローの英雄様でした。

SFC版では地味様、リメイク版では会話キャラなあのお方でしたよ、どっちでも地味に強いけど。いや、もともと引換券よりはマシなのだろうか？

ちなみに現在は原作25年くらい前かと思われる。確か原作では三十路の独身英雄ヒーローだったし。

家族構成はアークボルトに単身赴任している父親、モンスターと一緒に暮らしている母親の3人家族だ。

なんでアークボルトにそのまま家族一緒に住まないのかは疑問だ

が……家のローンとかあるのだろうか？

まあ、いいか。さて、ここでもう少しばかり回想に入ろうとしようか。

ある程度自由に動けるようになった時のこと。ふと、謎の存在が言っていた『特典』という単語を思い出した。

確か特典は取説を読むようにと言っていたが……ドコさ？

それらしきものは持っていなかった……そもそも母親の腹から出てくる時に持っていたら詰るわ。

だが本当に何も無いなんてことは……ないと思う。だって少なくともここは現代ではなかったのだから。そんなことを出来る存在が無駄に嘘を付くとは思えないのだ。

まあ、説明くらいはしていけよ、とは思ったが。

「……そういえばステータスとかがって見れるのか？」

あまり現実視をしていない考えが当時にはあり、試してみようと思っただのだ。

もちろんコントローラーなんてない。どうやってみればいいかわからないため、とりあえず念じてみた。

『つよむ』 『アモス』

なまえ：アモス

しよくぎょう…まちのごども

レベル：1

ちから：1

すばやさ：1

みのまわり：1

かしこさ：120

かつこよさ：1

さいだいHP：10

さいだいMP：1

こうげき力：1

しゅび力：5

EX：0

E ぬののふく

……普通に見れたよ。まあ、予想通りにレベル1なのだが……

「……かしこさチート？ でもDQ6のかしこさって無駄パラメーターじゃん……」

まあ、転生した身だからね。それに幼い身では呪文習得とかに役立つかもしれないが……それ以外のパラメーターは多分普通だろう。

『つよさ』項目は見られたのだから他も確認できるはずだ。そう思い念じ続けてみる。すると……

『どづぐ』 『アモス』

E ぬののふく

アモスのとりせつ

……確かにあった。アイテム名は最悪だがな。一体どこに持っていたのだろうか？ とりあえず『アモスのとりせつ』を選択してみる。

『アモスのとりせつ』 『つかう』

「なになに……【タンスの中を見る】とな。はいはい、見ればいいんでしょ見れば……」

これ取説でもなんでもねーだろ。

まさかドラクエシリーズお馴染みの家宅<sup>ドロボウ</sup>捜査を現実に行うと思うと、なんか切なくなってきた。とは言ってもここは自分の家なのだが。とりあえず取説に従いタンスを開けるとそこには……

「大きな袋？ 何が入ってるんだか……」

アモスは大きなふくろを  
手に入れた

ある意味でこの『ふくろ』こそドラクエ史上最大のチートアイテムだよな。これも同じ四次元性能を持つてるのか？  
密かな期待をしつつ中身を確認してみる。

『どづぐ』 『ふくろ』 『みる』

メタルキングのおたま	1
メタルキングフライパン	1
メタルキングナイフ	1
メタルキングおなべ	1
メタルキングまないた	1
メタルキングエプロン	1
メタルキングバンドナ	1
メタルキングミトン	1
うまのふん	99
なぞのてがみ	1

「色々おかしいだろ！？なんで調理具のメタルキングシリーズなんだよ?! どうしてうまのふんが一緒に入ってるんだよ! しかも99個も!!」

ふくろの中身は相当カオスだった。うまのふんはアレか? アモス本人の因果応報というか呪いというか……それにしてもこの調理



メガンテ

「本気で碌でもねええ……………」

……………本当に何もかもが嫌になったら使おうか。

……………回想終了。

今思い出してもホント虚しいわ。しかし、仮にも原作ではモンス  
トルの英雄になったのだから近い将来にあのモンスターと闘わな  
くてはならないかもしれないのだ。

せっかくメタルキングシリーズがあるのだから修行しておくに越  
したことはない。

そう、将来の目標は……………

「魔王を料理してやんよ。手始めにムドーからだな」

(俺自身の)世界平和だ!!

## 英雄爆誕（後書き）

おたまとフライパンで「アモスラッシュュ！」とか言ってみたりして。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2850z/>

---

それゆけアモっさん！

2011年12月10日12時46分発行